

社会正義：包摂性の促進、貧困の撲滅及び不平等の解消  
タスクフォース5 - S20 ブラジル 2024

仮訳

この文書は S20 ブラジル 2024 における議論の議長サマリーであり、全ての S20 メンバーが必ずしもこの立場を共有するものではない。

## 前文

2015 年 9 月、国連本部に集まった 193 カ国の代表は、2030 年までに達成すべきグローバルアジェンダを承認した。署名国は、地球を持続可能な生活に適したものにするためには、17 の持続可能な開発目標 (SDGs) に対して緊急に行動を起こす必要があることを認識した。中でも特に重要視されているのは、極度の貧困を含むあらゆる形態と次元の貧困の撲滅であり、これは地球規模で最大の課題であると同時に、持続可能な開発にとって不可欠な要件である。世界を持続可能で強靱な道へと導くために、大胆かつ変革的な措置が提示され、各国政府はこれらを取り入れることを約束した。これらの行動は統合的かつ不可分であり、持続可能な開発の 3 つの側面、すなわち社会、経済、環境のバランスを取らなければならない。科学と国際的な科学的協働は、これらの目標を達成するための重要なメカニズムとして機能する。このような観点から、「地球規模の変革に向けた科学」をモットーに、S20 科学アカデミーは 2024 年にリオデジャネイロで会合を開き、国連の 2030 アジェンダに関連する次の 5 つのテーマに焦点を当てた議論を行った。(1)人工知能、(2)バイオエコノミー、(3)エネルギー移行プロセス、(4)健康関連の課題、(5)社会正義。

我々は、S20 ブラジル 2024 の提言が各国政府によって検討され、G20 の最終文書の指針となることを期待し、この提言を G20 諸国の政府及び社会に提示する。また、我々は、G20 諸国が社会保障、年金制度、保健福祉プログラムに大きな影響を与え、ひいては経済成長や競争力に影響を及ぼす労働力人口の規模や年齢構成の変化を見越して適応しつつ、人口動態の動向を考慮する必要があるという事実を注視している。教育制度は、高齢者と若者の双方の多様なニーズに対応することが不可欠である。社会と人口動態の動向を把握することは、技術的要件を予測し、イノベーションを推進するために不可欠である。

## 序文

科学の貢献によって目覚ましい技術の進歩が実現したにもかかわらず、世界はなお、顕著な不平等と社会格差に悩まされている。貧困は依然として、世界人口の大部分を苦しめる問題である。多くの人々が食料不足に直面し、住まいを失い、医療を受けられず、清潔な水や必要最小限の衛生にアクセスすることができない。デジタル化、人工知能、ロボット化によって、かつてないほどの速いペースで、仕事が消滅するとともに新しい仕事が創出されている。さらに、雇用市場の変化は、とりわけ貧しい国において、労働力の再教育に関する課題を突きつけている。貧困と不平等はそれぞれが別々のものであるが、両者はしばしば絡み合い、複雑な社会状況を作り出している。

国連が掲げる持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs) の中で、「あらゆる形態の貧困を撲滅すること」が第一に挙げられている。飢餓の根絶、健康及びウエ

ルビーイングの促進、並びに清潔な水及び衛生へのアクセスの確保、加えて質の高い教育とジェンダー平等は、この目標を達成するためには欠かせない条件である。しかしながら、核心的な問題はリソースの不足ではなく、むしろその不平等な分配にある。その上、貧困は世界各地で異なる様相を呈している。飢えに苦しむ人々がいる一方で、健康的な栄養素の不足、カロリーの高い食物、不十分な教育が原因で肥満に苦しむ人々もいる。

グローバリゼーションと持続的な国際経済交流により、ここ数十年の間に国家間の経済格差は縮小しているとはいえ、国家間及び国内における所得格差は依然として懸念事項である。追求すべき重要な道は、国内及び他国との社会経済格差を縮小することである。

社会的包摂性と文化的多様性を促進するためには、全ての開発政策の中心に人間を据えるべきであり、誰一人取り残されてはならない。したがって、制度を発展させることの価値を考慮に入れた権利と保障の視点を発展させ、経済的、社会的、文化的、環境的権利を完全に保障するために必要なリソースを配分することが不可欠である。

### 科学の役割に対する視点

科学の主要な目的の一つは、社会、環境、人間のウェルビーイングを増進させる知識を生み出したり、発見したりすることである。したがって、倫理的配慮と結果に対する意識をもって科学の進歩を追求することが極めて重要である。

科学の力を活用することは、貧困を撲滅し、不平等を是正し、包摂性を促進することを追求する上で、単に手段であるだけでなく責任でもある。社会は、技術革新、データ主導の政策立案、そして様々な科学的分野における進歩を通じて、より公平で持続可能な未来を築くことができる。科学的知識を開発戦略に統合することにより、我々は貧困や排除の根本原因に対処し、ひいては誰もが繁栄し、人類の向上に貢献できるような世界への道筋を切り開くことが可能となる。

科学はその本質からして、社会的な実践である。社会科学、自然科学、生命科学は、差別的な慣行を減らし、社会正義を促進するための戦略を伝達することができる。人間の行動を理解することで、ステレオタイプや偏見、不公正な構造的障壁に対抗する介入策を開発し、より公正な社会を育むことが可能となる。人間の行動に関する科学的洞察を応用することにより、各コミュニティは不平等を永続させるような社会規範の打破に取り組むことができる。このような問題を解決するためには、その複雑さを考慮すると、地域コミュニティの協働作業と共に、分野間連携を推進することが非常に重要である。

不平等の是正は、倫理的な要請であるだけでなく、社会の進歩のために活躍できる人的資源を効果的に増やすための決定的な条件である。社会正義は、暴力や不寛容、そして生活の社会基盤を成す信頼レベルや連帯の度合を弱めるような深刻な社会的分断の進行との闘いにおいて、強力な特効薬である。

## デジタル経済と社会正義

経済や社会のデジタル化は、あらゆる科学分野の知見から恩恵を受ける重要な意味を包含する、現在進行中の世界的な現象である。これらの問題として、デジタル・トランスフォーメーションが雇用に与える影響、教育を通じて提供されるべき必要なスキル及び情報、効果的な戦略及び政策の策定が挙げられる。テクノロジー、デジタル・スキル、リソースへのアクセスが、既存の格差をいかに拡大するのか、あるいは緩和させるのかを探求する必要がある。デジタル格差を解消することが重要であり、そのためには、誰もがインターネットにアクセスできるようインフラを拡充し、あらゆる社会階層がデジタルの進歩から恩恵を受けられるようにデジタルリテラシーを高める必要がある。これらの問題に取り組むことは、デジタル開発のための包摂的かつ公平な手法を考案すること役立つ。これらのテーマに積極的に関与し、社会科学や人文科学の知見を活用することにより、各国はデジタル・トランスフォーメーションの複雑さをうまく乗り切ることができ、公正かつ持続可能なデジタル開発にグローバルに貢献することが可能となる。

## 科学関連の情報操作

科学関連の情報操作問題に取り組む、その様々な影響を理解し、効果的な対抗策を明らかにすることが極めて重要である。デジタルメディア上の情報操作による有害な影響は、社会とガバナンスに大きな影響を与えている。情報操作と闘うための国家戦略、地域戦略、グローバル戦略を構築するためには、科学コミュニティ及び学術界の関与と市民社会の積極的な参画が必要である。ヒドロキシクロロキン (hydroxychloroquine) やイベルメクチン (ivermectin) が新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の治療に有効であるとされた事例のように、科学的な事柄に関する誤った情報の流布は、悪影響をもたらしかねない。G20 諸国は、保健や科学の分野における情報操作との闘いに焦点を当てたグローバルなイニシアティブにおける協働を促進するのにふさわしい立場にある。

## 科学リテラシー

一人一人が将来の科学の進歩を理解し、それらに関わりあうことができるようになるためには、科学リテラシーの果たす役割が極めて重要である。持続可能な開発という複雑な課題に取り組む上で、政府も市民も同様に科学リテラシーを養い、さらに、科学が固定された事実ではなく、自己修正するプロセスとしてどのように機能するのかを認識することが肝心である。社会が将来の技術的課題へ対応できるよう更なる備えを進めるためには、科学リテラシーを向上させることが、将来の技術的な課題に対応する、より良い社会のために、とりわけ重要である。今日の課題は、伝統的な学問分野の枠を超え幅広い科学分野にまたがっており、研究、知識の進歩、その実践にまで及んでいる。科学リテラシーを育むことで、誰もが今日の多面的な課題を理解し、それらへの取組に積極的に参加できるような環境の整備を促進することができる。

## 科学協力

科学と社会との協力関係だけでなく、全ての科学分野間の連携があれば、以下を実現することが可能である。すなわち、(1) あらゆる形態の不当な差別を廃し、全ての市民の基本

的な道徳的平等を主張することにより、万人のための教育、社会的平等、公正な処遇を促進すること、(2) 全ての人口階層のウェルビーイングを保証するために健康に重点を置くこと、(3) 炭素排出量を削減するために、持続可能なエネルギー及びビジネス慣行に移行すること、(4) 食料生産、土地利用、水管理及び海洋の健全性における持続可能性を確保すること、(5) 公正かつ強靱性を備えた持続可能な都市やコミュニティを発展させること、(6) 持続可能な開発のためにデジタル革命を活用すること。互いに協力することにより、これらの変革は 2030 アジェンダで示されている SDGs の達成に向けて道を切り開くことができる。

## 結語

世界最大の経済大国を代表する G20 のメンバーは、貧困との闘い及び不平等への取組において中心的な役割を果たしている。各国政府は、税制の見直し、現金移転（システム）の確立、企業の公正なガバナンス等、不平等を是正し、社会正義を促進するための多様なメカニズムを検討する必要がある。より公平な社会を築くためには、あらゆる形態の不当な差別と闘うための政策も同様に欠くことができない。